

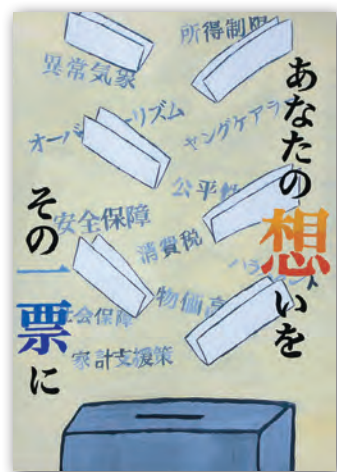


花巻市明るい選挙啓発ポスターコンクール 入選作品を紹介します

【問い合わせ】 花巻市選挙管理
委員会事務局(☎41-3603)

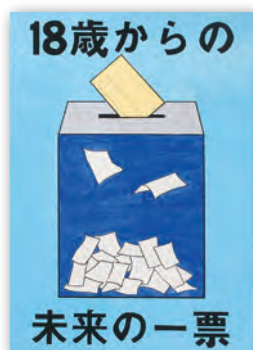
将来有権者となる児童生徒の皆さんが、選挙を身近に感じ、興味を持つきっかけとなるよう実施している「明るい選挙啓発ポスターコンクール」。
本年度は小学校の部に27点、中学校の部に40点の応募がありました。その中から入選した作品を紹介します。

中学校の部



最優秀賞
花巻中3年
嶋春乃さん

優秀賞



東和中1年
佐々木凛さん



花巻中3年
阿部恵太さん



花巻中3年
坊澤征周さん



花巻中3年
鈴木香凛さん

小学校の部



最優秀賞
湯本小6年
富手陽葵さん

優秀賞



湯本小6年
高橋二菜さん



湯本小6年
小田島想さん



湯本小6年
西村風人さん



湯本小6年
西尾介利さん

●来年度も同コンクールを実施する予定です。ご応募をお待ちしています



「税についての作文」 入賞者を紹介します

【問い合わせ】
本館収納課(☎41-3530)

税に対する関心や理解を深めるため、市内小中学生から毎年募集している「税についての作文」。本年度は小学生307人、中学生52人から応募がありました。
主な賞で入賞した皆さんは左記のとおりです。その中から、中学生の部で東北地区納税貯蓄組合連合会会長賞を受賞した、阿部奏さんの作品を紹介します。

小学生の部

- 花巻市長賞 小瀬川 雪花さん(湯本小6年)
- 県南広域振興局県税部花巻県税センター所長賞 泉田 明穂さん(桜台小6年)

中学生の部

- 東北地区納税貯蓄組合連合会会長賞 阿部 奏さん(花巻中3年)
- 花巻市長賞・岩手県納税貯蓄組合連合会優秀賞 佐藤 志美嘉さん(大迫中2年)
- 花巻税務署長賞 永喜多 優花さん(湯本中3年)

「理想の社会を実現するために」

花巻中学校3年 阿部 奏

もし、私たち学生誰もが等しく質の高い教育を受けることができ、病気になったりケガをしたりしても経済的な心配なく安全に治療を受けられ、誰もが安心して老後を過ごせる社会があったとしたら、それはどんな社会なのでしょう。私はこのような社会を実現するために、一人ひとりが社会全体を支え合うしくみが必要不可欠だと思います。そして、その基盤となるのが、公平で公正な『税』であるべきです。税を単なる『負担』と捉えるのではなく、『未来への投資』と捉えることで、より豊かな社会を築いていくことができるのではないのでしょうか。この考えを深めていく中で、教育水準の高さや福祉の充

実度が知られているフィンランドに注目しました。フィンランドの税制は私が理想とする社会を具体的に示してくれていると思えました。

フィンランドの税制について調べてみて一番驚いたのは、日本の消費税にあたる付加価値税が24%ということでした。しかもその税金の70%以上が社会保障や教育、医療に関することに使われているそうです。そのことから、高い税率がかけられた一方で、国民のための充実した社会保障制度がとられていることがわかりました。しかしこれほど高い税負担が国民にのしかかっていると、不満を待つ人が多くてもおかしくないと思います。ですが、私の予想とは裏腹に、アンケートによると国民の96%が納得して税金を払っていると回答していました。また、小学校から大学までの学費が無料であり、高齢者の家賃およそ八割を国が負担していて、高齢者へのケアも充実していました。フィンランドが世界幸福度ランキングで首位を維持している要因として、国民が

税負担に対して高い理解と納得感も持っている点が大きいと言えるでしょう。

フィンランドの事例は、税が単なる負担ではなく、国民の生活の質を向上させ、社会全体を豊かにするための投資であるということを明確にしています。私たちの日常生活は当たり前のサービスに支えられています。これらのサービスが可能になっているのは税金があるからです。税金と聞くと「高い」「複雑」といったネガティブなイメージを抱く人が多いと思いますが本当にそうでしょうか。税の負担感がかりが強調され、税がもたらす恩恵が見えにくくなっているのではないのでしょうか。フィンランドが豊かさの源泉として税を位置づけ、その恩恵を国民が享受している事実を知り、私はこれまでの税に対する固定観念が大きく揺さぶられました。私たち一人ひとりが税の持つ力を理解し、積極的に未来を創造する主体となることこそが誰もが安心して過ごせる豊かな社会を築くための第一歩となるでしょう。